

# 平成27年度 施策評価表

	課・グループ名	生涯学習課社会教育グループ
--	---------	---------------

作成年月日：平成28年9月2日

<b>施策名</b>	①子育て支援策の充実 3-1-①		
<b>1. 施策の現状分析及び展開方向</b>			
政策・施策の体系	大項目	中項目	小項目
	3. 地域に根ざした教育と文化の高いまちづくり	(1) 地域みんなで育てる幼児教育の推進	①子育て支援策の充実
①施策のねらいと展開方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てに対する不安や悩みの解消を図るために親同士、子ども同士が交流する場や子育ての経験者（子育てサポーター）や保健師等に身近に相談できる場を提供し、地域全体で子育て支援する環境づくりを目指します。</li> <li>●子育てに関係する部署や関係機関、ボランティアと連携を図り、情報を共有し、学習機会の充実を目指します。</li> </ul>		
②施策の現状と課題	現 状	課 題	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●少子化や核家族化が進行する中で、子育てに対する不安や悩みを持つ親（保護者）が多く潜在していることから、親同士、子ども同士が交流する場を提供しています。</li> <li>●本来、家庭で担わなければならない子育てに対する役割への認識が低下してきていることから、家庭の役割や子どもへの係わり方を学ぶ場を提供しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●子育てに対する不安や悩みを身近に相談したり、解決したりする交流の場を提供し、地域全体で子育てに取り組む環境づくりが必要になります。</li> <li>●少子化により、事業への参加者が減少傾向にあるため、関係機関やボランティアとの連携をより深め、子育てに対する役割や子どもの発達課題を学ぶ場を提供する必要があります。</li> </ul>	

<b>2. まちづくりの成果指標の設定、達成状況</b>										
① 成果指標	設定の意図			まちづくりの成果指標名			数値化			
	・子育てを支援するため、親子でコミュニケーションを図ることができる場を提供していることから、参加者数を成果指標として設定した。			成果指標 (総合計画・施策評価)			○	可能		
				すくすく広場参加者数(延べ)				不可能		
				代替指標 ※成果指標がない場合				未計測		
								指標の設定		
				可能						
				不可能						
※施策目的(施策の意図)の達成状況を把握するための指標を記載しています。										
② 指標データ	単位	過年度実績			評価年度	目標年度	達成率増減の理由			
		H24	H25	H26	H27	H28				
目 標	人	700	700	700	700	700	他部局でも類似の事業がある等の理由により、全体的に各回の参加者数が減少した。			
実 績	人	586	447	518	373					
達成率	%	83.7	63.9	74.0	53.3					
評価視点		評価結果				理由、課題・問題点				
③ 施策の達成状況		A 計画目標に向けて順調に推移 (目標達成は十分に可能である)				施策の達成度	・家庭教育を支援する人材(サポーター)を育成し、子育てに関する情報提供を行う事で、悩みや不安を解消する場の提供は出来たが、全体の参加者数が減少している。 ・子育て支援事業は町部局(保健福祉課)や子育て支援センターでも実施されており、実施内容が類似している部分があることから、調整を図り、回数や内容の見直しを行う事が必要である。			
		B 計画目標に向けて概ね順調に推移 (目標達成は可能である)								
		C 計画目標に向けての進捗はやや遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)				B				
		D 計画目標に向けての進捗は遅れている (目標達成は難しい)								

### 3. 施策を構成する事務事業の評価

【種類】事務事業の種類	【必要性】事務事業の必要性	【妥当性】町の関与の妥当性
(1) 自主事業(自主)	(1) 町が保障する町民生活の最低水準に関わるもの	(1) 町が実施主体となり、企業等が補完的な役割を行う事業
(2) 施設管理事業(施管)	(2) (1)を超えるサービスで町民ニーズが大きいと考えられるもの	(2) 実施主体は企業や町民団体等が適当であり、市が補完的な役割を担う事業
(3) 経常的事務(経常)	(3) (1)を超えるサービスで町民ニーズが小さいと考えられるもの	(3) 企業や町民団体等による実施が妥当な事業
(4) ハード事業(ハード)		

①事務事業評価結果											施策への 貢献度 <高い> <普通> <低い>		
事業番号	事務事業名	種類	所管課名	成果指標	評価年度(H27)		事務事業の内容	必要性	妥当性	事務事業 評価結果 (方向性)		事業費(千円)	
					目標	実績						H27実績	H28予算
1	子育て支援事業	(1)	生涯学習課	①すくすく広場の参加者数 ②サポーターの登録人数 ③ブックスタート参加組数	①700	①人	・すくすく広場～親子遊びや集団遊び、体力づくり、読み聞かせ活動の実施。 ・子育てサポーターの委嘱・子育てメソッド・子育てネットワーク会議～子育てサポーターや子育てに関する課が連携し、相談に応じる。 ・ブックスタート～親子の前で読み聞かせを実演し、絵本2冊とイラストアドバイス集等が入ったブックスタートバックをプレゼントする。	Ⅱ	Ⅰ	見直して継続 — 手段の見直し	408	高い	
					② 12 ③ 50	②人 ③組					344		
2													
3													

年度別施策全体の事業費合計(千円)	
H27事業費	408
H28予算	344

②H28に実施した新規事務事業				
実施計画	実施主体	事務事業名	事務事業の内容	H28予算(千円)
1				
2				
3				

評価視点	評価結果	理由・問題点
③事務事業の妥当性 (手段は妥当か)	A 効果的な事業構成である。 (現状のまま継続する)	・少子化の影響もあり参加者が減少しているが、子育て支援事業は重要であり、生涯学習サポーター(子育てサポーター)と連携した事業運営は妥当である。 ・他部局や生涯学習サポーターとの調整を図り、特徴のある事業内容への見直しが必要である。
	B 概ね効果的な構成である。 (一部見直し等の余地がある)	
	C あまり効果的な事業構成はない。 (見直し等の余地が大きい)	
	D 事業構成に問題がある。 (抜本的な見直し等が必要である)	
	事業構成の妥当性	
	B	

4. 今後の方向性 ※外部評価 (行政評価委員会)								
①総合評価 (今後の展開、事業の見直し等) 委員会評価	特に課題とすべき指摘事項はない。			事業の方向性  優先度 A～D (ランク)	事業番号			平成29年度以降 の予算の方向性
	A							
	B							
	C	1				○		
	D							
					拡大			
					維持			
					縮小			